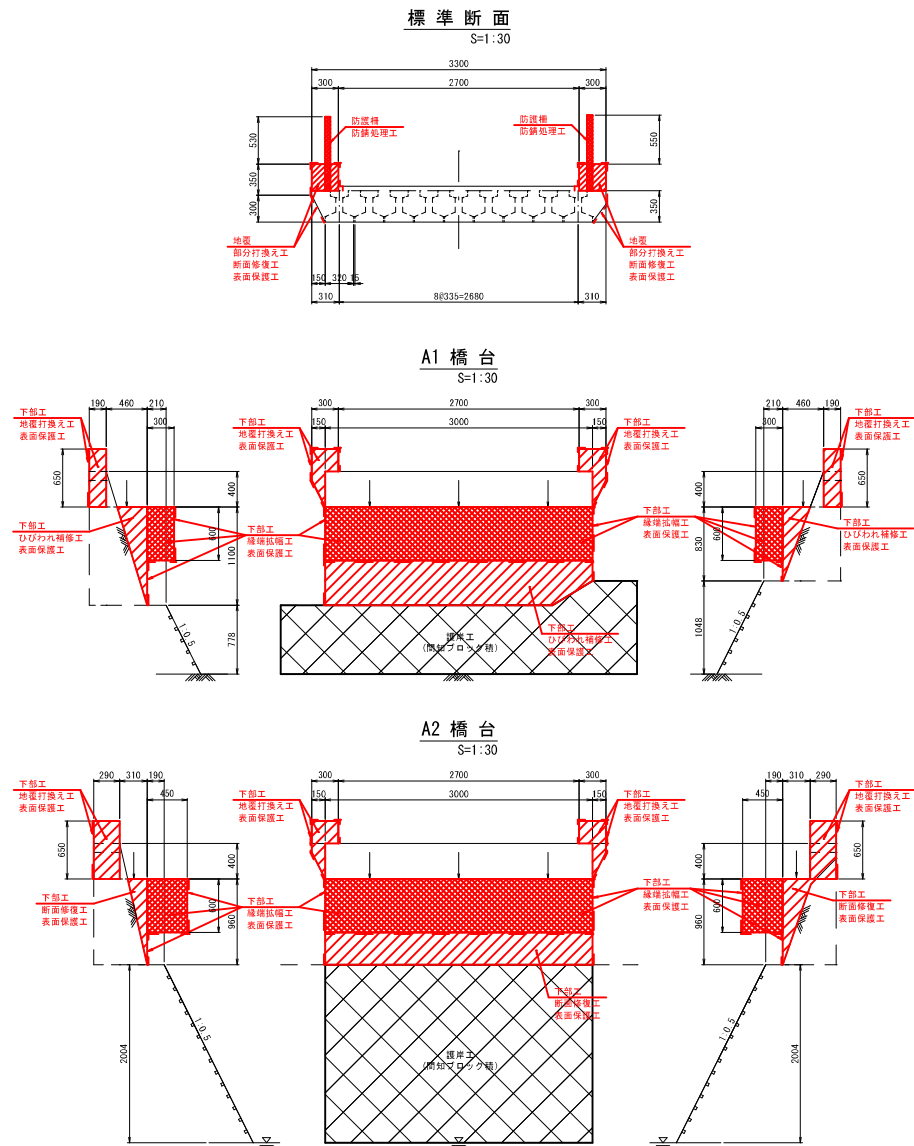
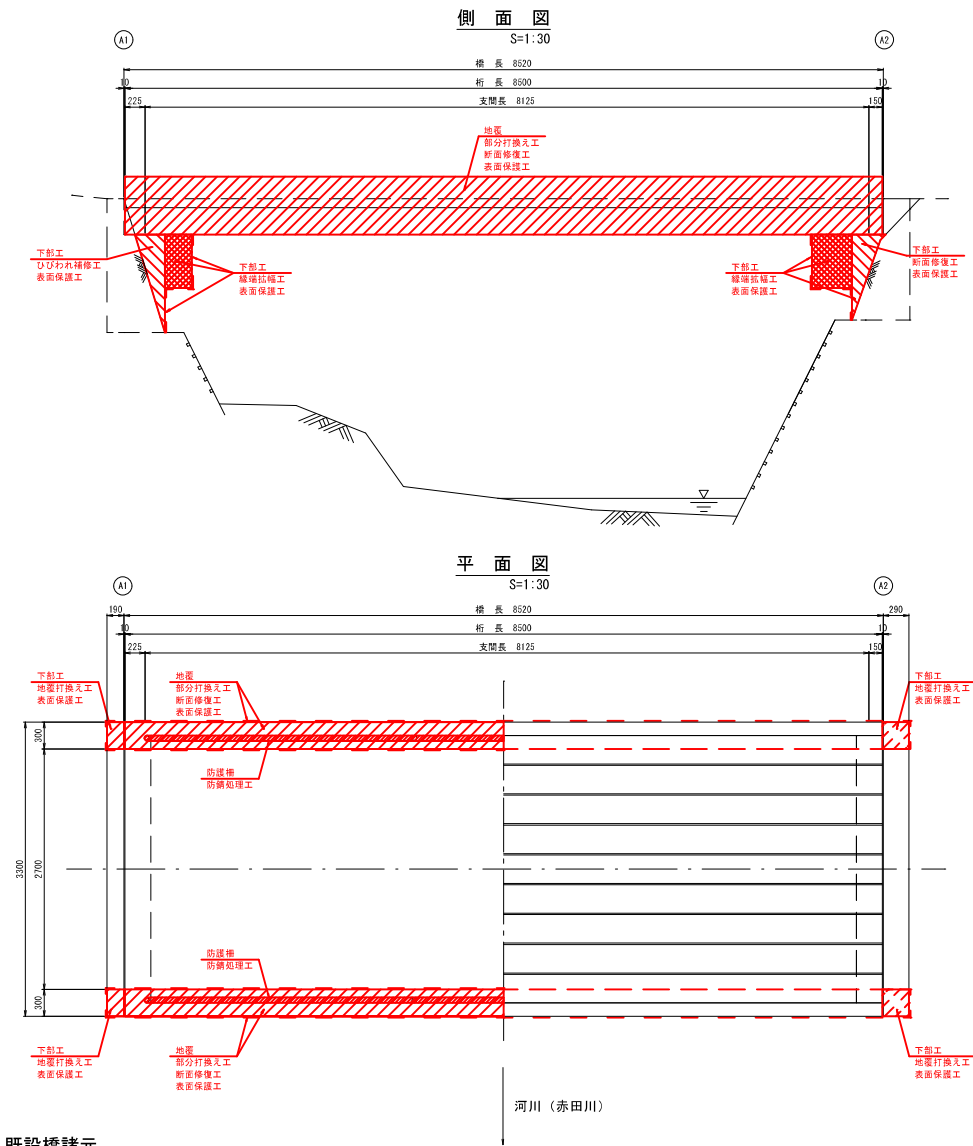


橋梁補修一般図



既設橋諸元

上部工形式	1径間PCI桁
橋長	8,520mm
支間長	8,125mm
幅員	3,300mm（全幅）
平面曲線	R=∞
橋桁配	LEVEL
斜角	90°
設計活荷重	TL-14（仮定）
舗装	コンクリート舗装
下部工形式	その他橋台（無筋）
交差物	河川（赤田川）
架設年次	不明
適用示方書	不明

橋梁補修内容

対象部位	補修工法
① 地盤	部分打換え工、断面修復工、表面保護工
② 防護欄	防護欄修理工
③ 下部工	地盤打換え工、断面修復工、ひび割れ補修工、表面保護工

落橋防止システム

対象部位	補修工法
① 下部工	縁端低阻工

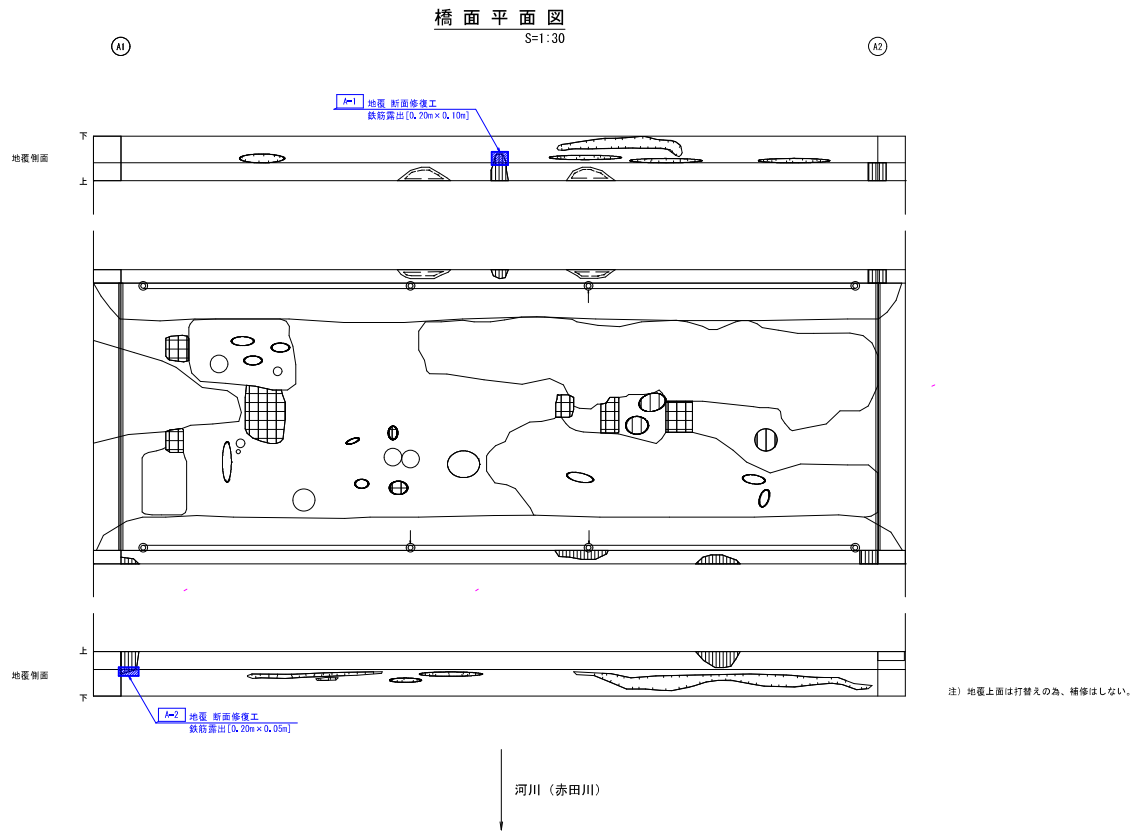
<特記>

1. 本図面の断面寸法は、現地での計測結果および既設資料を基に復元したものであり、詳細寸法等は現地検測を行い決定すること。

当初設計

令和8年度	工事番号	保函工第1号
路線名	河川名	林道荒沢座標（小滝橋）
箇所名	由利本荘市赤田字白銀台 地内	
工事名	林道荒沢座標 小滝橋 橋梁補修工事	
橋梁補修一般図		縮尺 S=1:30
照査	設計	図面番号 1/7
由利本荘市		

補修図(その1)

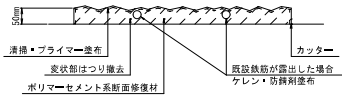


<特記>

1. 本図面の断面寸法は、現地での計測結果および既往資料を基に復元したものであり、詳細寸法等は現地検測を行い決定すること。
2. 鉄筋防錆数量は現地で確認のうえ、決定すること。
3. コンクリート脆弱部は完全に除去し、断面修復を行うこと。
4. 断面修復深さについては、はつり後の検測により決定のこと。
5. 表記箇所以外に損傷が見られた場合には、同様に補修を行うこと。
6. 断面修復工法及寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。

凡 例			
ひびわれ (0.2mm未満)		鉄筋露出	
ひびわれ (0.2~0.5mm未満)		漏水	
ひびわれ (0.5~1.0mm未満)		遊離石灰	
ひびわれ (1.0~1.5mm未満)		その他	
ひびわれ (1.5mm以上)		補修跡	
うき		部位：損傷名 (規模) 写真番号	
剥離			

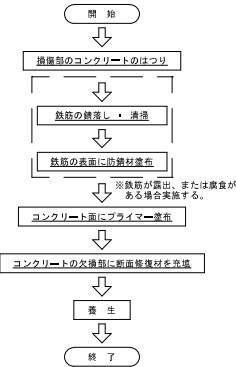
断面修復工詳細図



断面修復工数量

番 号	長(m)	幅(m)	箇所数	面積(m ²)	体積(m ³)	鉄筋露出	備 考
地覆							
I-1	0.20	0.10	1	0.02	0.001	有	t=5cm
I-2	0.20	0.05	1	0.01	0.001	有	
小 計				0.002			

断面修復のフローチャート



<凡 例>

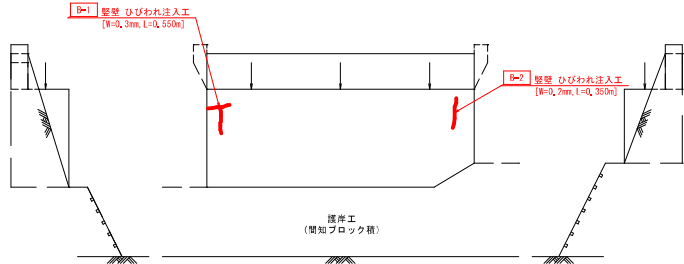
	断面修復工
	ひびわれ注入工

当初設計

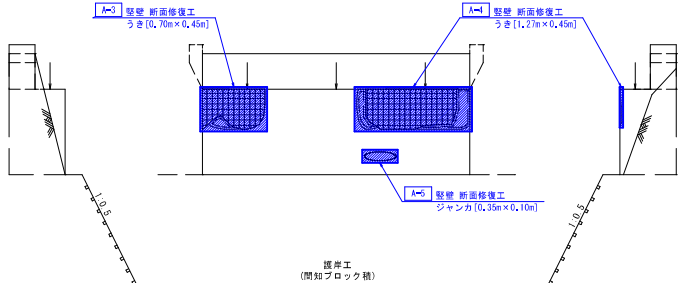
令和 8 年 度		工 事 番 号	表紙(第 1 / 1) 号
路 線 名	林道荒沢座標 (小滝橋)		
箇 所 名	由利本荘市赤田宇白銀台 地内		
工 事 名	林道荒沢座標 小滝橋 橋梁補修工事		
補修図(その 1)		縮 尺	S=1:30
照 査	設 計	図 面 番 号	2 / 7
由 利 本 荘 市			

補修図(その2)

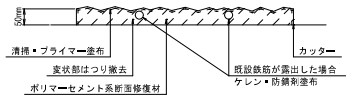
A1 橋台断面図
S=1:30



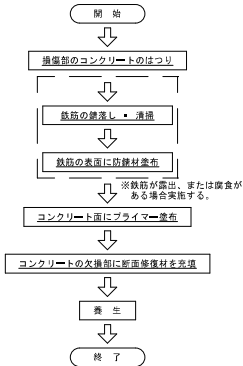
A2 橋台断面図
S=1:30



断面修復工詳細図



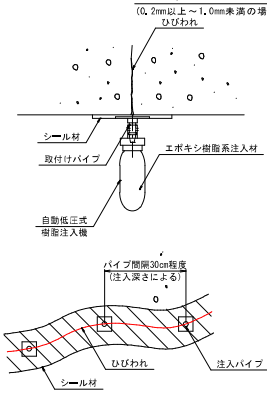
断面修復のフローチャート



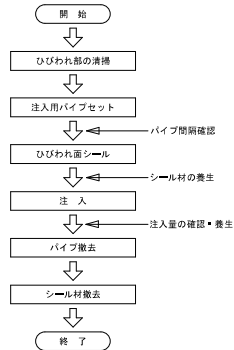
断面修復工数量

番号	W (m)	H (m)	箇所数	面積 (m ²)	体積 (m ³)	鉄筋露出	備考
A2橋台							
A-3	0.70	0.45	1	0.32	0.016	無	t=5cm
A-4	1.27	0.45	1	0.57	0.029	無	
A-5	0.35	0.10	1	0.04	0.002	無	
小計				0.047			

ひびわれ注入工法



注入工のフローチャート



ひびわれ注入工数量

番号	ひびわれ幅 (mm)	延長 (m)
A1橋台		
B-1	0.30	0.55
B-2	0.30	0.35
合計		0.9

凡 例

ひびわれ (0.2mm未満)		鉄筋露出	
ひびわれ (0.2~0.5mm未満)		漏水	
ひびわれ (0.5~1.0mm未満)		遊離石灰	
ひびわれ (1.0~1.5mm未満)		その他	
ひびわれ (1.5mm以上)		補修跡	
うき		部位：損傷名 (規模) 写真番号	
剥離			

<特記>

1. 本図面の断面寸法は、現地での計測結果および既往資料を基に復元したものであり、詳細寸法等は現地検測を行い決定すること。
2. 鉄筋防錆数は現地で確認のうえ、決定すること。
3. コンクリート脆弱部は完全に除去し、断面修復を行うこと。
4. 断面修復深さについては、はつり後の検測により決定のこと。
5. 表記箇所以外に損傷が見られた場合には、同様に補修を行うこと。
6. 断面修復工法及び寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。

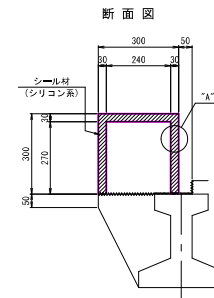
<凡 例>

	断面修復工
	ひびわれ注入工

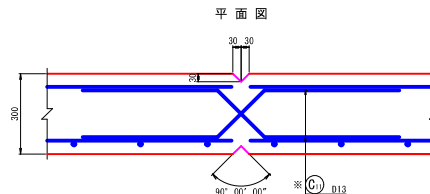
申請設計

令和8年度	工事番号	第16号
路線名	林道荒沢座標 (小滝橋)	
箇所名	由利本荘市赤田宇白銀台 地内	
工事名	特選荒沢座標 小滝橋 橋梁補修工事	
補修図 (その2)	縮尺	S=1:30
照査	設計	図面番号 3/7
由利本荘市		

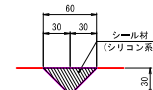
地覆打替え工



Vカット詳細図
S=1:10



“A”部詳細図
S= 1:3



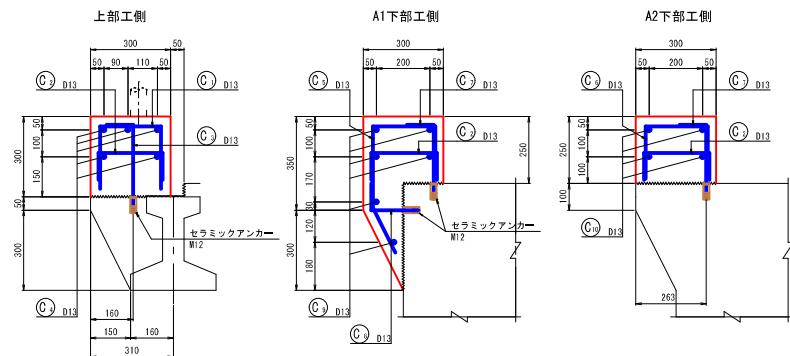
鉄筋表



							1組目
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	備考
C 1	D13	700	72	0.995	0.70	50	□
C 2	"	430	80	"	0.43	34	□
C 3	"	420	72	"	0.42	30	└
C 4	"	4180	20	"	4.16	83	—
C 5	"	910	4	"	0.91	4	└
C 6	"	800	4	"	0.80	2	□
C 7	"	370	8	"	0.37	3	└
C 8	"	270	4	"	0.27	1	└
C 9	"	120	12	"	0.12	1	—
C 10	"	220	8	"	0.22	2	—
C 11	"	1240	8	"	1.23	10	└
						220 kg	
S0345		普通鉄筋		エポキシ樹脂塗装鉄筋			
合 計		D13	210	kg			
総質量			210	kg	10 kg		
セラミックアンカー M12		84		個			

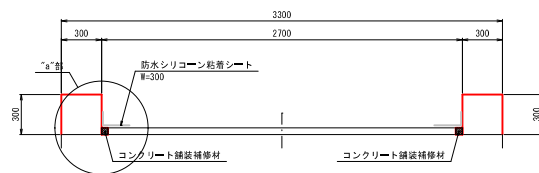
注) ※は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

断面図
S=1:10

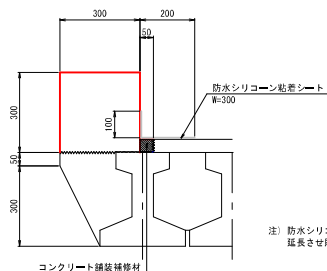


舖裝補修工

断面图
S=1:20

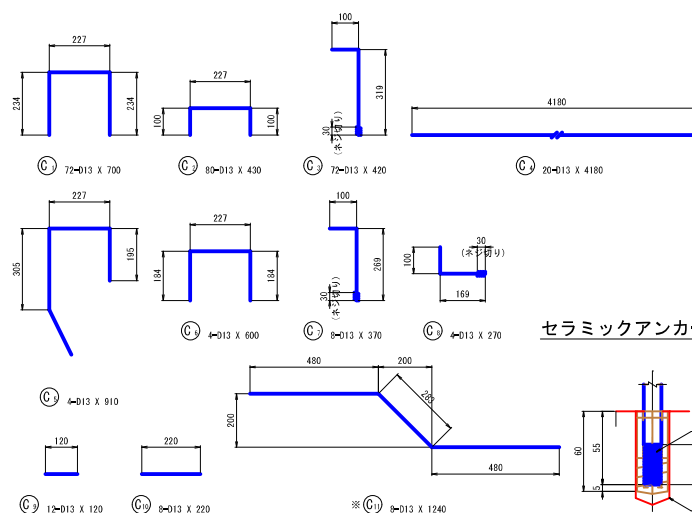


"a"部詳細図
S= 1:10



注) 防水シリコン粘着シートは、パラペット背面まで延長させ貼り付けること。

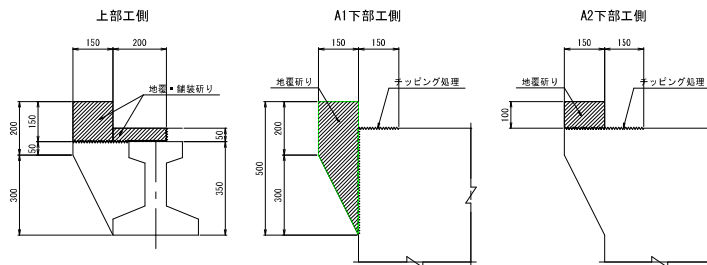
鉄筋加工図
S=1:10



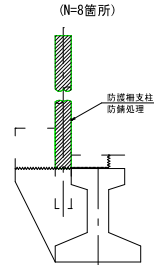
セラミックアンカ一取付図
S= 1:2

注) ※は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
鉄筋本数は、1橋当り(両側)の本数を示す。

既設地覆撤去断面図
S=1:10



防護柵防鏽處理
S=1:10



<特記>

1. 本図面の断面寸法は、現地での計測結果および既往資料を基に復元したものであり、詳細寸法等は現地検測を行うに決定すること。
2. 既設達縁鉄筋は基本撤去せず、そのまゝ使用すること。
既設鉄筋に錆がある場合は、入念に錆を除去し、防錆処理を行うこと。
3. アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう、配慮調査を行うこと。
4. コンクリートには膨張材を使用すること。(30kg/m³程度)
5. 地震を析る際は、主筋を傷けない様に十分注意すること。

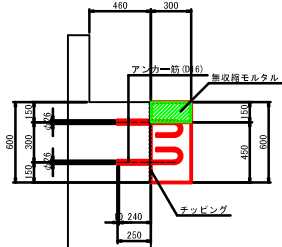
当初設計

令和 8 年度		工事 番号	第 2 工事 1
路 線 名 河 川 名	林道荒沢底橋 (小湊橋)		
管 理 名	由利本荘市赤田字白根地		
工 事 名	林道荒沢底橋 小湊橋 橋梁修繕工事		
橋面補修工詳細図		縮 尺	図 示
照 査	設 計	図 面 番 号	4 / 7
由利本荘市			

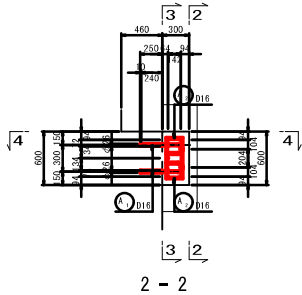
縁端拡幅工詳細図

A1橋台

構造図 S=1:20
断面図

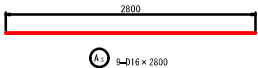
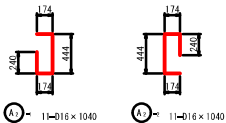
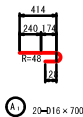


配筋図 S=1:30
断面図 (1-1)

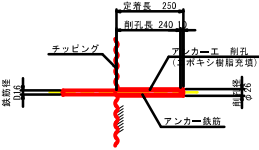


A1橋台鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	概要	
A 1	D16	700	20	1.56	1.09	22		
A 2	〃	1040	11	〃	1.62	18		
A 3	〃	1040	11	〃	1.62	18		
A 4	〃	2800	9	〃	4.37	39		
						97	kg	
						D16	97	kg

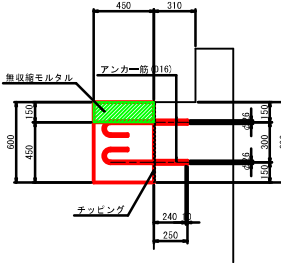


アンカー鉄筋詳細図 S=1:10

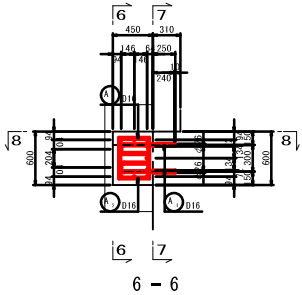


A2橋台

構造図 S=1:20
断面図

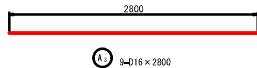
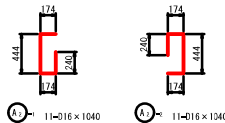
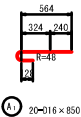


配筋図 S=1:30
断面図 (5-5)



A2橋台鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	概要
A 1	D16	850	20	1.56	1.33	27	
A 2	"	1040	11	"	1.62	18	
A 3	"	1040	11	"	1.62	18	
A 4	"	2800	9	"	4.37	39	
						102	kg
						D16	102 kg

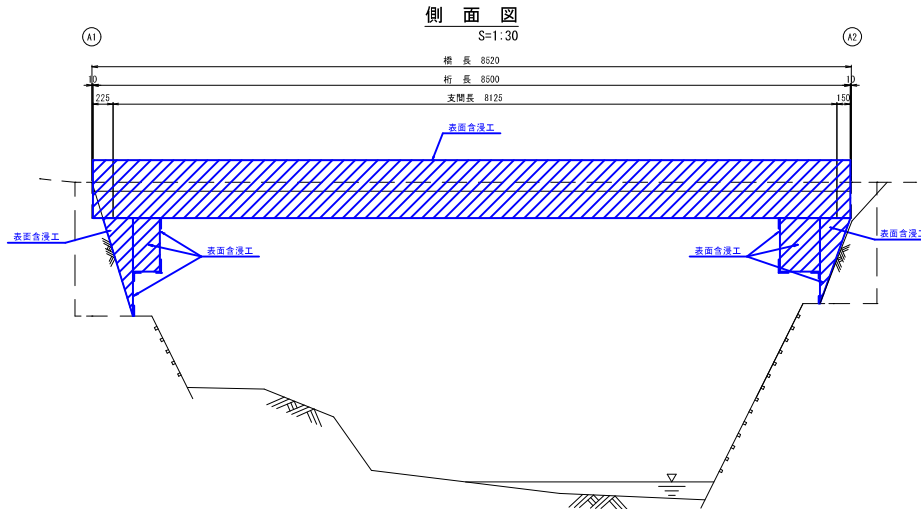


当初設計

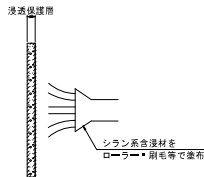
令和 8 年度		工事 番号	図面 番号
路線名 河川名	林道荒沢産線 (小滝橋)	工事名	林道荒沢産線 小滝橋 橋梁補修工事
箇所名	由利本荘市赤田宇白銀台 地内	設計	5
監理		図面 番号	7
由利本荘市			

- <特記>
1. 桁下面と拡幅部天端は接合しないよう隙間を設けること。
 2. アンカーは全てエポキシ樹脂系とする。
 3. 既設下部工掘孔時には、既設鉄筋位置を確認し実施すること。
 4. 鋼材の最小かぶり厚は、70mmとする。
 5. 孔内が空洞している際には、対応できる材料を選定すること。
 6. 施工時には、覆設方法を確認のうえ施工を行うこと。
 7. 鉄筋の曲げ内半径は20φとする。
 8. コンクリートの設計基準強度はσck=24N/mm²とする。

コンクリート表面保護工詳細図

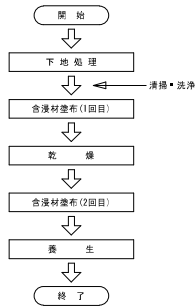


表面含浸工詳細図

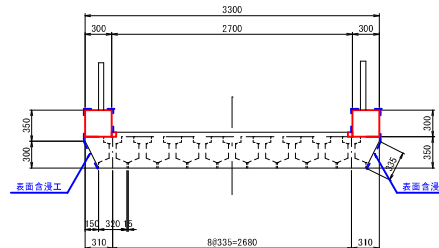


凡 例	
損傷の種類	表 示
表面含浸工	

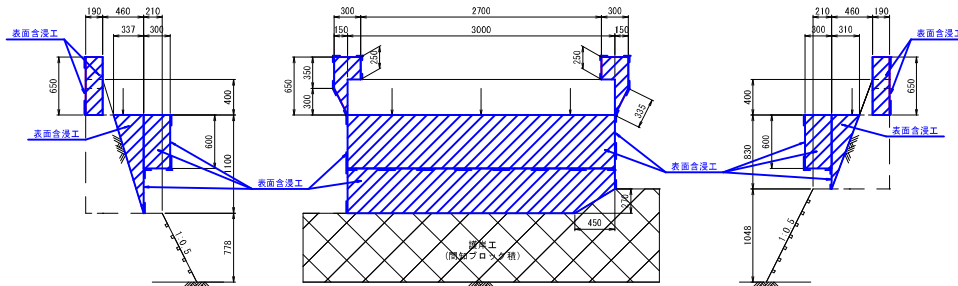
施工手順フロー(参考)



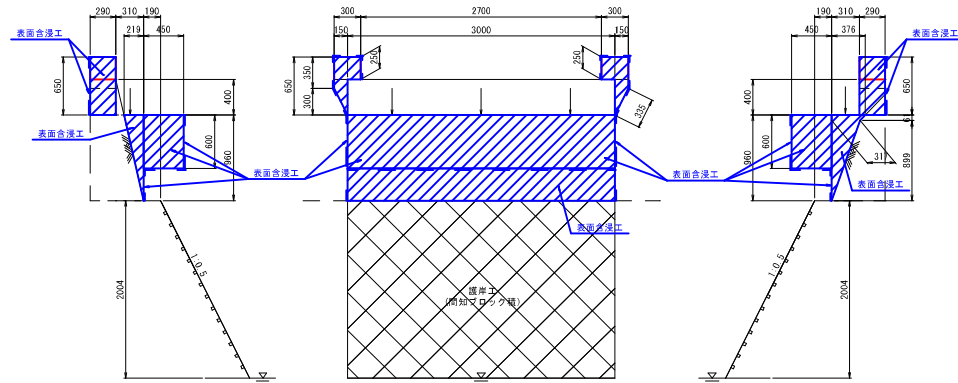
標準断面
S=1:



A1 橋台
S=1:3



A2 橋台
S=1:3



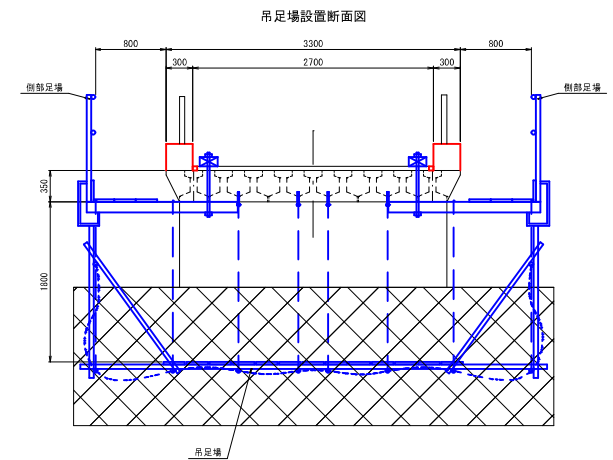
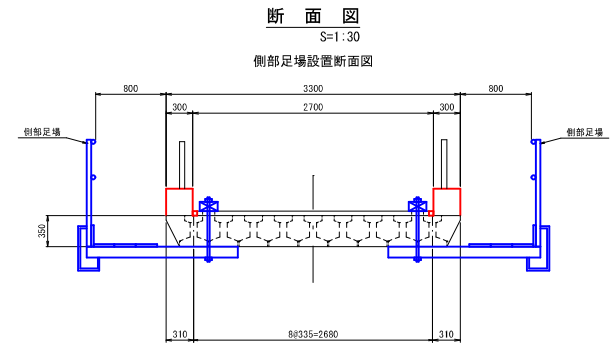
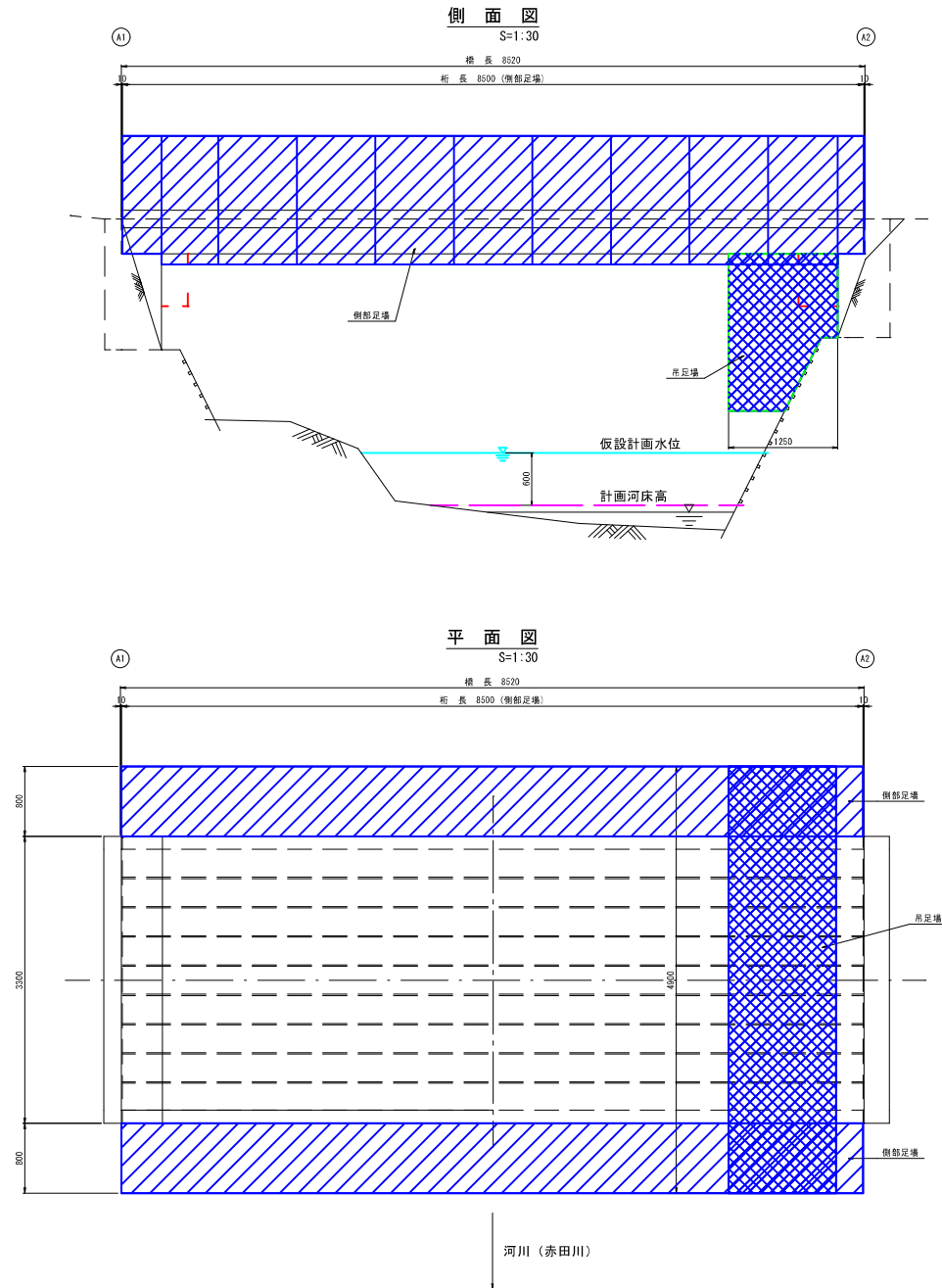
当初設計

令和 8 年度		工事 番号	第 10 号
路 線 名	林道荒沢産線（小滝橋）		
箇所名	由利本荘市赤田字白飯台 地内		
工事名	林道荒沢産線 小滝橋 橋梁修繕工事		
コンクリート 表面保護工詳細図		縮尺	S=1:30
照査	設計	図面 番号	6 7
由利本荘市			

＜特記＞

1. 本図面の断面寸法は、現地での計測結果および既往資料を基に復元したものであり、詳細寸法等は現地検測を行い決定すること。

足場工計画図(参考図)



<凡 例>

側部足場
吊足場

<特記>

1. 本図面の断面寸法は、現地での計測結果および既往資料を基に復元したものであり、詳細寸法等は現地検測を行い決定すること。

当初設計

令和8年度		工事番号	測量工事第1号
路線名	林道荒沢産線 (小滝橋)		
河川名	由利本荘市赤田宇白銀台 地内		
箇所名	林道荒沢産線 小滝橋 橋梁補修工事		
工事名	林道荒沢産線 小滝橋 橋梁補修工事		
足場工計画図 (参考図)		縮尺	S=1:30
照査	設計	図面番号	7/7
由利本荘市			